

氏名	米田 俊彦 YONEDA Toshihiko
所属 職名	人間文化創成科学研究科人間科学系 教授
学位	教育学博士（1989 東京大学）
専門分野	日本教育史（教育制度・政策史）
URL	
E-mail	yoneda.toshihiko@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

戦後教育史

History of Postwar in Japan

主要業績

『新制高等学校定時制課程発足にかかわる長野県の学校沿革史の記述?青年学校と新制高校定時制課程との連続性をめぐって?』（「グローバルCOEプログラム「格差センシティブな人間発達科学の創成」報告書、2010年12月、全115ページ）

書評「水野真知子著『高等女学校の研究（上・下）』（日本教育学会『教育学研究』第77巻第3号、2010年9月、pp.292-295）

研究内容 / Research Pursuits

戦後教育史、とりわけ農村地域に多数展開し、1960年代にほとんど消滅した定時制高等学校（分校）の研究を、長野県を事例に進め、報告書にまとめました。 今後は神奈川県戦後教育史を幅広く手がける予定です。

I am investigating part-time high schools in rural district established in Nagano Prefecture. After this I want to study the history of postwar of Kanagawa Prefecture.

■ 教育内容 / Educational Pursuits

学部・大学院のいずれにおいても教育史、教育制度論などの授業を担当しています。専攻科目のほかに教職課程の授業も行っています。担当した卒業論文の題目は「公立学校という枠組みの中でのコミュニティ・スクールのあり方」「幼稚園教員養成の歴史」「母親に対するまなざしの変容?「教育ママ」関連記事の分析から?」「養護教諭が行う性教育」(2009年)、「学習意欲を育てる授業」「日本統治下台湾における教育経験」「戦後初期小学校社会科教科書に関する研究」「手塚岸衛の学級自治会に関する一考察」、修士論文の題目は「戦前日本における幼稚園・保育所の普及と地域差の実態?石川県を事例として?」(2009年)、アカデミック・エリート形成と思想に関する一考察」「1930年代東京府における伊勢参宮旅行」「1960?70年代における戦後版良妻賢母教育の展開」(2010年)でした。

I am teaching subjects about the history of education or the system of education in the faculty and the graduate school. I teach subjects of teacher-training course, too. I led students who wrote graduation theses "The community School as Public School",

■ 研究計画

神奈川県戦後教育史について、幅広く研究を進めるほか、財団法人野間教育研究所における学校沿革史研究も、近く成果をまとめる予定です。

■ メッセージ

教育史は、古いことを覚える学問ではなく、過去の経緯の中に、現代と将来の教育を考えるポイントを見いだす研究です。経緯や流れの中に本質が潜んでいることは意外にたくさんあります。